

各 位



2025年5月14日

会社名：スターティアホールディングス株式会社

代表者名：代表取締役社長 本郷 秀之

(コード番号 3393 東証プライム)

問合せ先：取締役 兼 執行役員 CFO 兼 コーポレート本部長 植松 崇夫

(TEL：03-5339-2109)

通期連結業績予想と実績値の差異及び剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2024年11月8日に公表いたしました2025年3月期通期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績値との差異及び2024年11月8日に公表いたしました2025年3月期の配当予想につきまして、下記の通り修正することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想と実績値との差異

(1) 通期連結業績予想と実績値との差異

(2024年4月1日～2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想	21,450	2,620	2,630	1,800	187.12
実績	22,211	2,737	2,784	1,960	206.29
増減額	761	117	154	160	
増減率	3.5%	4.5%	5.9%	8.9%	
前期実績	19,571	2,282	2,253	1,546	165.32

(2) 差異の理由

ITインフラ関連事業において、サイバーセキュリティ需要の高まりを背景にネットワーク関連機器の販売が好調に推移しました。また、複合機やビジネスフォンの販売、新電力及び光コラボレーション（光回線サービス）の拡販に注力したことで堅調に売上が積み上がり、加えて、2024年4月に営業を開始した富士フイルムBI奈良株式会社が業績に貢献し、通期を通じてフロー売上、ストック売上及び利益が増加いたしました。

デジタルマーケティング関連事業では、主要プロダクトである「BowNow (バウナウ)」

や「IZANAI（イザナイ）」の利便性に加え、AI チャットサービス ChatGPT との連携や UI/UX の改善を進めた結果、ストック売上の源泉となる月次経常収益（MRR）が順調に増加するとともに、利益も増加いたしました。

その結果、連結業績における売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれにおいても 2024 年 11 月 8 日に公表いたしました業績予想を上回る結果となりました。

なお、詳細につきましては、本日公表の「2025 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。

2. 剰余金の配当について

（1）配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2024年11月8日公表)	前期実績 (2024年3月期)
基準日	2025年3月31日	同左	2024年3月31日
期末 1株当たり配当金	68円00銭	56円00銭	48円00銭 (内、記念配当11円00銭)
期末 配当金総額	673百万円	—	482百万円
効力発生日	2025年6月23日	—	2024年6月24日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金
(ご参考) 第2四半期末 1株当たり配当金	46円00銭	46円00銭	21円00銭
(ご参考) 年間 1株当たり配当金	114円00銭	102円00銭	69円00銭 (内、記念配当11円00銭)

（2）理由

当社の剰余金の配当につきましては、成長・発展に必要な資金を内部留保より賄いつつ、財務健全性の維持に努め、連結業績や今後の事業展開などを総合的に勘案し、累進配当を継続的に実施すると共に、連結ベースの配当性向 55%を目途とした基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、2024 年 11 月 8 日公表において、1 株当たり 56 円としておりましたが、当期業績を踏まえ、配当方針に沿い、期末配当金を 12 円増配し、1 株当たり 68 円の実施とさせていただきます。これに伴い、1 株当たりの年

間配当金は114円の実施とさせていただきます。

なお、期末配当金（剰余金の処分）につきましては、本日開催の取締役会にて決議を行っております。

以上